

【所属名：教育委員会文化振興課】

【会議名：平成23年度第2回糸魚川市文化財保護審議会】

## 会 議 録

作成日 平成24年2月6日

日	平成24年2月2日	時間	13:25 ~ 15:30	場所	糸魚川市役所 204 会議室
件名	報告(1) 山口家住宅の修繕等について (資料1)				(公開)
	報告(2) 白山神社文化財収蔵庫について (資料2)				(公開)
	報告(3) 「散位藤原為賢公駿紛失状」について (資料3)				(公開)
	報告(4) 伊藤家の文化財調査について (資料4)				(公開)
	報告(5) 小正月行事について (資料5)				(公開)
	報告(6) 伝統芸能のリーフレットについて (資料6)				(公開)
	報告(7) 史跡の整備・修繕について (資料7)				(公開)
	報告(8) 硬玉産地保存管理計画について (資料8)				(公開)
	報告(9) 相馬御風宅保存管理計画について (資料9)				(公開)
	報告(10) 「関所榎」の樹勢回復について (資料10)				(公開)
	報告(11) 埋蔵文化財調査と報告会について (資料11)				(公開)
	報告(12) 糸魚川市歴史民俗資料館企画展等について (資料12)				(公開)
	報告(13) 文化財の解説板・標柱等の設置・修繕について (資料13)				(公開)
	報告(14) 文化財防火デー関連事業について (資料14)				(公開)
	議題(1) 文化財の指定について				(公開)
	議題(2) その他				(公開)
その他				(公開)	
出席者	【出席者 7人】 金子会長、松野副会長、井伊委員、吉田委員、濱田委員、五十嵐委員、小川委員				
	【欠席者 2人】 野紫木委員、山崎委員				
	【事務局 5人】 文化振興課 小林課長、木島副参事、山岸主査、小林主任主事、高津主任主事				
	傍聴者定員		一人	傍聴者数	0人
<b>会議要旨</b>					
1 開会 (13:25)					
【事務局】 小林課長あいさつ					
【金子会長】 会長あいさつ					
文化財防火デーへの委員の参加にお礼。本日は報告事項が多いが、ひとつひとつが重要なものなので、よく内容を確認してほしい。					
2 報告 (13:30~)					
【事務局】 資料1~4について説明					
《質疑》					
【委員】 白山神社文化財収蔵庫について。請負業者はどこか。					
【事務局】 笠原建設である。設計監理については丹青社にお願いしている。					

【委員】伊藤家の文化財調査について。小樽にいた頃の資料は分類されているか。

【事務局】おそらく分類されていない。新潟県史編纂で目録が作成されたものは、主に江戸から明治の廻船・土地関係の資料が中心。それ以降の資料は（目録になっていない）茶封筒に入っている文書の中にあるかどうか。茶封筒に入った文書はまだ確認できていないが、明治時代以降のものは少ないかもしれない。

【事務局】 資料5～6について説明

《質疑》

【委員】百川塞の神小正月行事の保存について。昔は藤崎の鳥追いもやっていたような気がするのだが、現在も行っているか。もし行っているなら合同で実施する方法もある。

【事務局】藤崎区の鳥追いについて情報が入っていないので、確認したい。

【事務局】百川の鳥追いは市の指定文化財になっているが、藤崎の鳥追いについては指定となっていない現状である。

【委員】伝統芸能のリーフレットについて。リーフレットの中にからかいのときに歌う歌を入れるべき。臨場感が違うと思う。

【事務局】今回新たに作成したリーフレットには歌詞は入っていないが、旧リーフレットには掲載がある。在庫がまだあるので、両方を活用したい。

【事務局】 資料7～10について説明

《質疑》

【委員】白池の休憩棟の工事について。休憩棟のところに「石臼」があったはずだが、現在どうなっているか。

【事務局】工事の間、塩の道保存会会長の田野さんにお預かりいただいている。雪が溶けたら再度同じ場所に設置する予定。

【委員】青海の硬玉産地について保存管理計画を策定中とのことだが、どういう動線を市では考えているのかお聞かせ願いたい。

【事務局】現在工事用の道路をそのまま使用している状態。基本的には上流は今のルートを残して、下流についてはひすい原石がほとんどないことから、溪谷美を残す様な方法を検討している。

【委員】旧青海町時代に整備した木道等を整備改修して利活用してはどうか。

【事務局】傷みが激しく修復して活用するのは無理な状況。また、途中川を渡らなければならない所などあり、一般の観光客の方に利用していただくには危険。

【事務局】階段など昇り降りの高低差があるところなど、手摺がついているものの、錆びているため、大変危険な状況。

【委員】一般の人でも安全に見学できるよう早期整備をお願いしたい。現在の計画では早くても平成25年度の改修となる。現地に行くまではジオパークの看板などがよく整備されているのに、現地に着くと「あれ？」といった感じがある。

【事務局】現在解説看板がなく、ひすいの盗掘禁止の警告板ばかりある状況である。

解説板の設置とともに、上流については、上流からの見学ルートの確保を検討したい。

【委員】御風宅の保存管理計画に付随して、平成23年度は企画展や講演会を実施したり、管理方法も変更するなど工夫されたようだが、実際昨年度と比較してどれくらい入館者が増えたか。

【事務局】今年度から閑散期については完全予約制としたため、冬場の入込はほとんどない状態であるが、4月下旬～11月中旬の繁忙期だけの入込で昨年度の倍くらいの入館者があり、2,000人ちょっとの状況である。

【事務局】 資料 11 について説明

《質疑なし》

【事務局】 資料 12～14 について説明

《質疑なし》

【事務局】資料にはないが、現在の文化財の除雪の状況について補足説明させていただく。指定建造物等は所有者と連絡を取りながら対応しているところ。指定樹木については、積雪状況をみながら現況確認をしたいと思う。

あわせて小滝川の保存管理について、平成 23 年秋に大水が出た関係もあって、ひすいの保護や、護岸の崩落などについて問題が発生し、平成 24 年度から県・市一体となって保存管理計画を策定予定。その際に国県の調査官等が来県するため、フォッサマグナパークの県以上の指定に向けて、折を見てそちらも見ていただく予定。

### 3 議題（14：45～）

#### （1）文化財の指定について

割愛

#### （2）その他

【委員】伊藤家の文化財調査について。今年度調査を進めて、報告書は出すのか。

【事務局】平成 24 年度に報告書を刊行予定。

【委員】相馬御風宅の改修予算は、スプリンクラーなど防火設備を備える予定か。

【事務局】消防設備について、現在保存管理計画策定委員会で検討中。改修予算は計画策定後にどのくらいになるか概算が出る予定だが、予算規模からいってスプリンクラーまでは設置が困難。

【委員】伊藤家の文化財について。いいものがあれば指定したいという意味で調査しているか。

【事務局】指定を前提に調査を進めている。美術品としての価値は判断が難しく、その点では所有者との協議が必要。

【委員】市所有の資料について。予算をきちんととって真贋を含め全て調査をしてほしい。そしていいものがあつたときにはすぐに市民に公開できるようにしてほしい。

【事務局】今回の藤原為賢の公驗紛失状についても、目録は以前からあつたが価値に気づけていないということがあつた。平成 24 年度予算は今からでは間に合わないが、平成 25 年度予算の中で相談させていただき、何らかの形で回答したい。調査する人材などについては、もちろん今から準備したい。

【委員】御風の収集した民芸品で例えば灰皿があるが、御風の遺品としての価値はもちろん、美術品としての価値もある。

【事務局】伊藤家の調査に入っている諸山氏は美術品に詳しい。機会があれば御風収集資料も見てもらいたい。

【委員】調査をしたら、速やかに一般公開してほしい。

【事務局】伊藤家については収蔵品の一覧は出版物としてすでにある。

【事務局】資料の公開については所有者の意向もあるので、今後協議していく必要がある。

【委員】公開したくないからという理由で、資料の一部を目録から外したりするのではあまり目録を作成する意味がないと思う。

【委員】糸魚川の歴史民俗資料館で市所蔵の美術品展を開催しているが、あの美術品はその後またもとに戻すのか。

【事務局】基本的にはもとあったところに戻す予定。管理状況について、施設によっては確かに疑問のある場合もあるが、今回の美術品展を機会に作品の価値を感じて、整理・管理意識を高めてもらえたらと考えている。

【委員】美術品など、一括して管理して必要な時に必要な場所で公開する方法が良い。

【委員】地区公民館などにも貴重な区有文書がある場合があるが、管理状況があまりよくなく、火災による焼失のおそれがある場合もある。美術品も同じ状況ではないか。

【委員】資料の寄託・寄贈を積極的に受けてほしい。

【事務局】糸魚川歴史民俗資料館の館報を通じて資料の寄託・寄贈を呼びかけているが、おしらせばんなどでの周知はしていない。今後広報に努めたい。

【事務局】委員の皆様のほうで、市の指定にすべき物件の情報はないか。

【委員】根知の七夕はどうなっているか。

【事務局】文化庁に情報提供済。平成23年に文化庁の調査官が来糸予定であったが、震災の影響でかなわず、今年来糸予定とのこと。

#### 4 閉会

【松野副会長】閉会あいさつ

審議委員同士で文化財指定に関する話ができる場があってもいいのでは。  
今年度新しくなった委員もいる。指定文化財をめぐるツアー等の企画があれば良い。